

地域進学重点校改革推進事業 視察報告



目的

他県における進学指導重点校の取り組みを調査し、本校の教育活動の質的向上に資することを目的とする。

特に、少子化に伴う生徒数の減少や学力多様化の現状を支える観点から各校の先進的な実践を学ぶ。

視察先：千葉県立佐原高等学校

- ・千葉県教育委員会進学指導重点校
- ・在籍生徒数 普通科 717名(18クラス)
(R7年度) 理数科 100名(3クラス)
定時制 27名(4クラス)
- ・千葉大合格者が毎年10名程度

白高に近い規模感

入学後に生徒が伸びる学校



偏差値のボリュームゾーンは白高の一つ上の印象

学校で学習を完結させる必要

印象に残ったこと

クラスによるが年7回の所も！

- ・個人面談の回数が多い
- ・課外授業は完全希望制
- ・OB夢授業

歴代卒業生の講和
伝統校の強みを生かした
取り組み

白高との共通点

- ・学校周辺に大手予備校等がない
- ・地域の伝統ある進学校
- ・地域、OBからの支援が手厚い
- ・志願者数が減少傾向にある

白高に活かそうなこと

- ・面談回数の増加
生活を振り返る場面が増え、効果が見込めそう。負担は増えるので、学校として強制するのは現実的ではない。
- ・課外について
1,2年生の課外のあり方について、現在の原則全員参加と希望制、どちらがいいか考える必要を感じた。来てもやる気なくダラダラするくらいなら少数でもやる気のあるメンバーを進める方がよいのでは…
- ・OB夢授業
地域の学校として似た活動はできるのでは



佐原高校すぐ近くの街並み



目的

他県における進学指導重点校の取り組みを調査し、本校の教育活動の質的向上に資することを目的とする。

特に、少子化に伴う生徒数の減少や学力多様化の現状を支える観点から各校の先進的な実践を学ぶ。

視察先：千葉県立成東高等学校

- ・千葉県教育委員会進学指導重点校
- ・在籍生徒数 734名
- ・千葉大合格者が毎年15～20名程度

白高に近い規模感



入学後に生徒が伸びる学校

偏差値のボリュームゾーンは白高の一つ上の印象



学校で学習を完結させる必要

白高との共通点

- ・学校周辺に大手予備校等がない
- ・伝統ある進学校
- ・地域、OBからの支援が手厚い
- ・OB教員が多い
- ・志願者数が減少傾向にある

印象に残ったこと

- ・定期考査が年5回
- ・理数科をくくり募集に
- ・学習習慣確保週間
- ・教員基礎コース

理数科は理系選抜クラス
普通科に文系選抜クラス

千葉県の教員採用に
コースの受講が条件
となる募集枠がある

白高に活かせそうなこと

- ・定期考査の回数について
考査があれば勉強する点は白高生も同様、ただし今の日程にさらに考査一回の追加は厳しい。科目で単元テストを実施するなど、緊張感を持たせる工夫が考えられる。
- ・選抜クラスについて
学力差が大きく、進路志望も多岐にわたるため1つの方策として有効そうな感覚。SC1を1つのクラスとして扱うようなイメージ。

成東高、佐原高ともに先生方の熱意やパワーを強く感じた。地域の進学校としてまずは同じ方向を向いて指導する必要がある。



目的

他県における進学指導重点校の取り組みを調査し、本校の教育活動の質的向上に資することを目的とする。

特に、少子化に伴う生徒数の減少や学力多様化の現状を支える観点から各校の先進的な実践を学ぶ。

視察先：茨城県立下妻第一高等学校

- ・在籍生徒数 普通科 715名(18クラス)
- ・茨城県立学校長公募選考採用校
- ・校長先生の経験から、アントレプレナーシップの育成を目指した探究学習が行われている。

探究について
教えて頂きました。



探究について

- ・探究があることで教員、生徒ともに負担になっているのでは？
→週に1コマということは1/33、3%ならやってもいいと思えてこないか？
- ・なかなか取り組まない生徒への対応について
→・数学が嫌いな生徒と同じようにやりたくない生徒がいるのも当然。
 - ・期限が決まっていて成果を求める仕組みだとうまくいかないだろう。
 - ・教員の「やらせなければ、指導しなければ」という意識を変えればだいぶ楽になる。
 - ・ゲームだろうが何だろうが生徒本人のやりたいこと好きなことから出発させてあげるといい。
- ・地域活性などのテーマは着地が難しい

探究に対して抱えていたモヤモヤとした気持ちが少し軽くなったやり取り

白高のこれからについて

大人からの協力が得られるのは大変ありがたいことだが、大人主導となっているグループがみられ、探究の体を成していない部分がある。また、毎年ほぼ同じ内容の発表となるグループがあり、このあたりが負担に感じているところである。「外部発表会に参加して賞をとる」が目的になっている節があり、ここを変えないと教員も生徒も意味のある探究学習が行えるとは思えない。

管理職目線からの学校の話をしていただき、普段とは違う見方、考え方で興味深かった。その他にも校長先生、教頭先生の話がおもしろく、あっという間の時間であった。伝えたいことは多いが、この余白はそれを記すにはあまりにも短い。